

4 まちづくりのビジョン

4-1. まちづくりのコンセプト

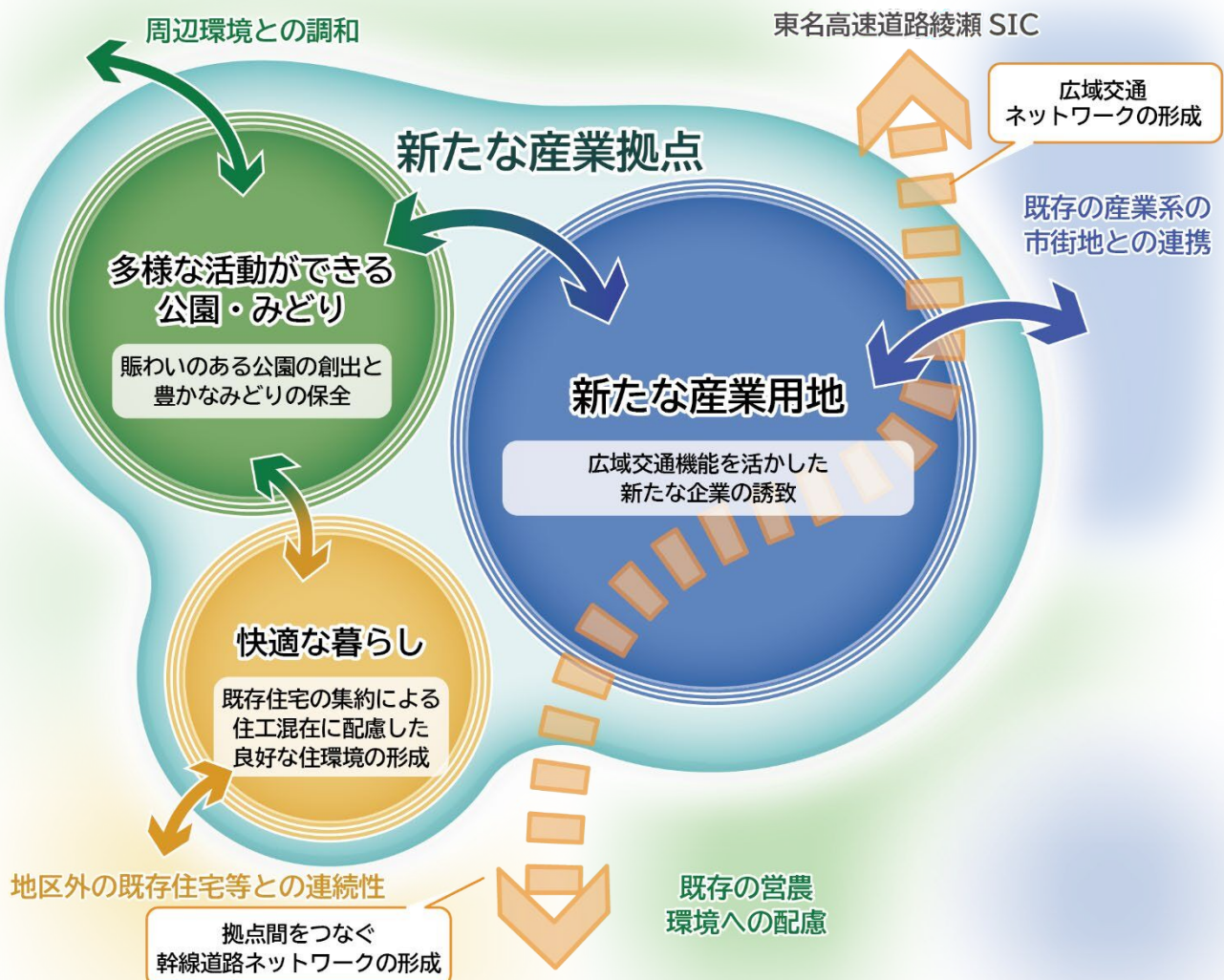
新産業の森西部地区のコンセプト

新たな産業拠点の創出に向けた都市基盤の整備による、『産業』・『暮らし』・『みどり』が調和した持続的に発展するまち

●説明

- 「新たな産業拠点の創出」に向け、広域交通機能を活かした産業立地を誘導するとともに、道路や公園、公共下水道などの公共施設の整備、良好な住環境の形成、豊かなみどりの保全・創出を図ることで、『産業』・『暮らし』・『みどり』が調和した持続的に成長・発展するまちの形成をめざします。

●イメージ



4-2. カテゴリごとのコンセプトとまちづくりの方針



土地利用

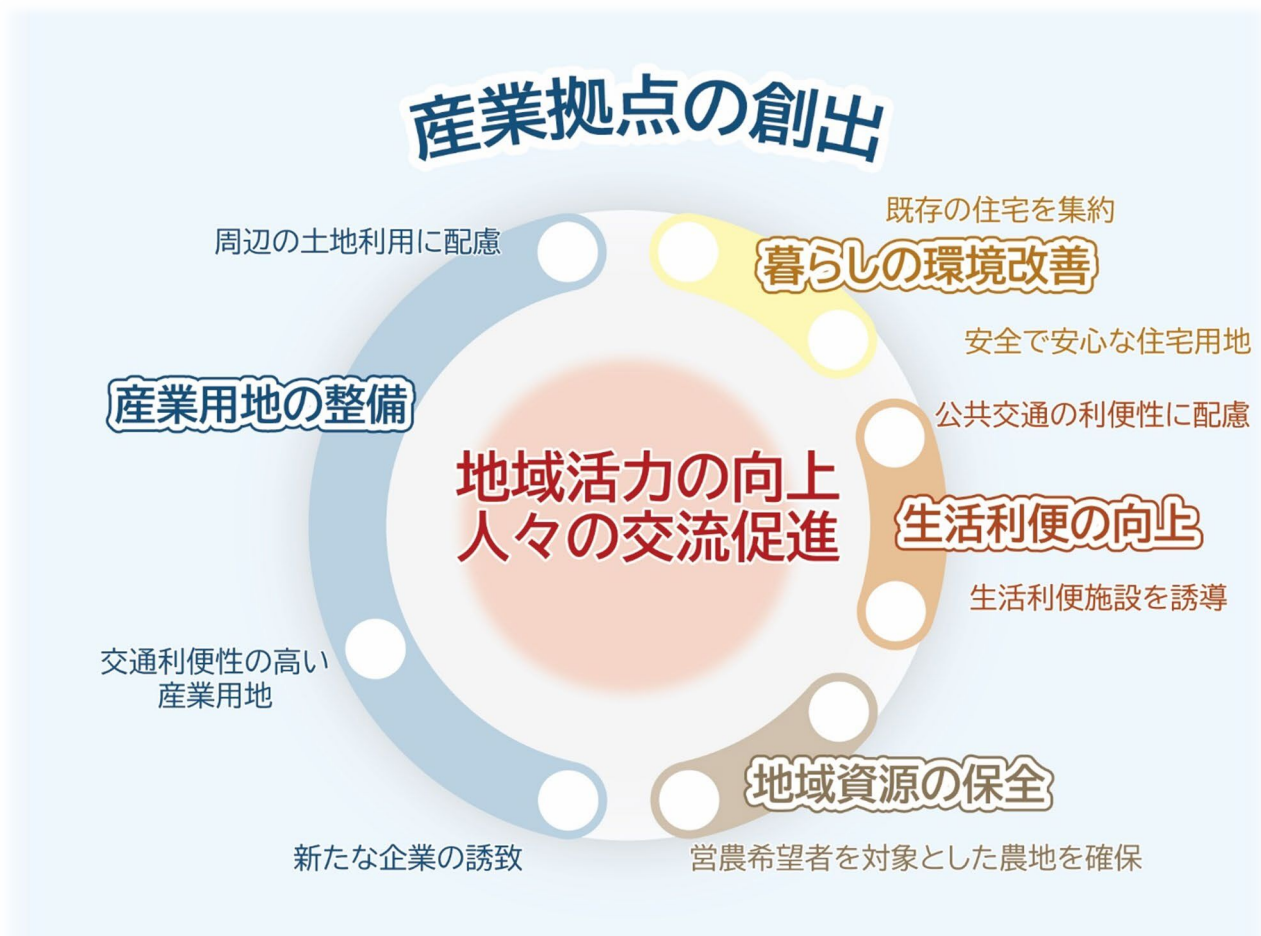
●コンセプト

地域活力や人々の交流などが生み出される土地利用

《説明》

産業用地の整備や暮らしの環境改善、生活利便の向上、地域資源の保全が図られることで、地域活力の向上や人々の交流促進等、様々な効果が生み出されるような土地利用をめざします。

《イメージ》



○まちづくりの方向性(キーワード)

新産業の誘致

住環境との調和

進出企業との交流

利便性の高いまち

地域の活性化



●まちづくりの方針

交通利便性の高い新たな産業用地の創出



- ◎主要な道路からのアクセス性に配慮した、産業ゾーンの形成をめざします。

快適で暮らし続けることができる住環境の形成



- ◎安全・安心や、公共交通の利便性に配慮した、暮らし続けることができる住環境の形成をめざします。
- ◎住環境の改善のため、既存の住宅を集約し、まとまりのある住宅ゾーンの形成をめざします。
- ◎地区内居住者や就業者等が利用できる生活利便施設を確保することで、若者から高齢者まで誰もが快適に暮らすことができる住環境の形成をめざします。

農業に配慮したまちの形成



- ◎農業を続けたい人が農業を続けられるような土地利用や隣接する農地への影響に配慮したまちづくりをめざします。
- ◎地元の生産者と住民との交流機会の創出や、地産地消の取組による農業を通じた地域コミュニティの活性化をめざします。

《考えられる取組イメージ》 ※コンセプトやまちづくりの方針を実現するための取組イメージ



- 新たなまちの価値を創造する企業等の誘致



- 誰もが公共交通を利用しやすいように、バスの停留所を整備



- 周辺農地で収穫された野菜の販売等による交流



公園・みどり

●コンセプト

豊かなみどりの継承と新たなみどりの創出による、
多様な活動ができる公園・みどり

《説明》

豊かなみどりの継承(適切な保全)とあわせて、新たに公園やスポーツ広場を整備し、『やすらぐ』、『憩う』、『動く』等、多様な活動・使い方ができるような公園・みどりの創出をめざします。

《イメージ》



○まちづくりの方向性(キーワード)

自然との共生

複合的な広場

憩いの場

安心して利用できる公園

使いやすい公園



●まちづくりの方針

誰もが利用しやすい公園づくり



- ◎土地利用に適した機能を導入し、今ある自然環境を活用した、誰もが憩える、開かれた公園の形成をめざします。

自然環境を活用したみどりの空間づくり



- ◎今ある緑地や樹林地等の保全・活用により、誰もが豊かな自然を感じられる空間の創出をめざします。

再整備等による多機能な広場づくり



- ◎周辺道路からのアクセス性の確保や、駐車機能の導入により利便性の向上をめざします。
- ◎広場の利用者が、様々な活動ができる多目的な広場の形成をめざします。
- ◎スポーツ広場については、再整備や機能集約による土地の有効活用をめざします。

《考えられる取組イメージ》 ※コンセプトやまちづくりの方針を実現するための取組イメージ



- 誰もが利用しやすい開かれた公園の整備



- 環境学習の場として利用できる緑地等の保全



- 様々な方々の意見を聞きながらまちづくりを検討



道路・交通

●コンセプト

新たな産業や暮らしを支える、快適で利便性の高い道路・交通

《説明》

産業拠点の創出により進出企業、西部地区に暮らす方、地域外から来る方等、暮らしや活動を支える道路ネットワークを形成し、快適で利便性の高い道路・交通をめざします。

《イメージ》



主要区画道路(新設)



地区内幹線道路



区画道路

○まちづくりの方向性(キーワード)

道路網の整備・形成

公共交通機関の拡充

安全な道路空間

利便性・快適性のあるまち



●まちづくりの方針

幹線道路ネットワークの構築



- 地区内外をつなぐ幹線道路である遠藤葛原線について、県道42号(藤沢座間厚木)・県道22号(横浜伊勢原)間の早期整備による幹線道路ネットワークの構築をめざします。

安全で快適な生活道路の確保



- 狭あい道路の拡幅や行き止まり道路の解消、歩道の整備により、安全で快適な生活道路の確保をめざします。

地域特性にあった交通形態の形成



- 新たなまちづくりにあわせて、公共交通(バス路線)の拡充や地区周辺を含めた路線の再編をめざします。
- 地域の特性や移動の需要を踏まえて、地域と行政の協力のもと新たな交通手段やモビリティサービスの検討・導入をめざします。

地区内道路ネットワークの構築



- 各ゾーンに適した幅員の道路を整備するとともに、住環境における生活道路を適切に配置することで、地区内道路ネットワークの構築をめざします。

《考えられる取組イメージ》 ※コンセプトやまちづくりの方針を実現するための取組イメージ



- すべての利用者にとって安全な道路を整備



- 複数の交通手段の組合せによる MaaS の導入



- 乗合タクシーなどの導入



安全・安心

●コンセプト

産民公の連携による、持続可能な仕組みを備えた
安全で安心な地域の環境形成

《説明》

都市基盤の充実による防災機能の強化や、進出企業、地域住民、公共の 3 者の協力・連携により、自然災害に対応するための防災性や、安心して暮らせるための防犯性を向上させることで、将来にわたり安全・安心して暮らせる環境の形成をめざします。

《イメージ》

都市基盤の充実



産民公の連携



○まちづくりの方向性(キーワード)

企業進出による防災性向上

災害に強いまち

安全・安心な生活

防災・減災

進出企業との協働



●まちづくりの方針

防災機能の強化



- ◎道路や公園、調整池、公共下水道、その他インフラ(ガス等)等の都市基盤の充実により、防災機能の強化をめざします。
- ◎誘致する企業との協力により、防災・減災機能の向上をめざします。

災害に強いまちづくり



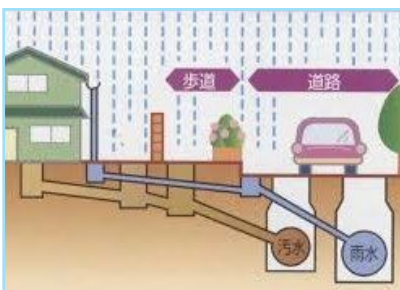
- ◎地震や台風等の自然災害に強いまちづくりをめざします。
- ◎自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの考え方を取り入れることで、災害リスクの低減をめざします。

施設等の整備による安全性・防犯性の向上



- ◎防犯設備や道路施設の整備により、住環境や道路空間の安全性・防犯性の向上をめざします。

《考えられる取組イメージ》 ※コンセプトやまちづくりの方針を実現するための取組イメージ



- 地区内の雨水処理のため、公共下水道や道路の側溝等の雨水排水施設を整備



- 進出企業との協力体制の構築



- 既存の緑地を活用した雨庭等、グリーンインフラの導入

